

1. 件名：東海再処理施設の廃止措置計画に係る面談
2. 日時：令和4年6月15日(水) 14時00分～15時15分
3. 場所：原子力規制庁10階会議室 ※一部出席者はTV会議にて実施
4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部

審査グループ 研究炉等審査部門

上野管理官補佐、小舞管理官補佐、荒井安全審査専門職、加藤原子力規制専門員

検査グループ 核燃料施設等監視部門

栗崎企画調査官、石井主任監視指導官

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構

バックエンド統括本部 バックエンド推進部 次長

安全・核セキュリティ統括本部 安全管理部 施設保安全管理課 マネージャー 他1名

再処理廃止措置技術開発センター 副センター長 他11名

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. 配付資料

資料1 工程洗浄の状況について

資料2 低放射性廃棄物処理技術開発施設（LWTF）の津波対策に係る方針について

資料3 3号溶融炉のケーシングの強度評価について

資料4 浄水供給配管の一部更新に係る安全対策工事への影響について

資料5 東海再処理施設の廃止措置等に係る面談スケジュール（案）

時間	自動文字起こし結果
0:00:02	はいそれでは本日の面談始めさせていただきたいと思います。早速、事前に資料2に基づき説明いただく前にですねガラス固化の状況について、ご説明をお願いします。
0:00:17	はい現状モリカワっす。
0:00:25	先週の金曜日まででいろいろ付帯配管の復旧にクォータで行っておりますがそちらの方は金曜日で完了しております。
0:00:36	今週月曜日からですね流下ノズル加熱コイルの繰り合わせ確認ということで、
0:00:43	こちらの毎回運転前に確認することにしておりまして今回、前回の運転前と同様にほぼ約9.6mm飯野
0:00:52	クリアンすがあることを確認しておりますので、ここ前回、結合装置交換したことによる、
0:01:01	特段今後影響は起きていないということで、そのまま引き続きましてという炉内へのガラスカレットの投入ですね、これに向けて、
0:01:13	今岡セル内にカレットの搬入を本日行っております。搬入次第、
0:01:20	営業内でのカレットの投入を今日2局ぐらいから行っていくということで引き続きましてそちらの方の作業の方を進めていく予定です。現状の計画通り、
0:01:31	作業の方が進んでいる状況となっております。簡単ですが説明の以上となります。
0:01:39	はい。ご説明ありがとうございました。それではただいまの説明に対して規制庁側から質問コメント等ありましたらお願いします。
0:01:48	すいません係石井ですけども。
0:01:51	はい、よろしいでしょうか。すいません。とりあえず今の説明聞くとTBLの方は順調にあって7月上旬、年間再開っていうイメージでよろしいんですね。
0:02:09	はい。現職モリカワです。今計画通り進捗している状況です。運転開始につきましてです熱上げの状況等を踏まえた日程の方を少し
0:02:20	変動する可能性があるかもしれませんが基本的には今、計画通り進めているところでございます。以上です。
0:02:27	はい、わかりましたどうもありがとうございます。
0:02:40	他何かございますでしょうか。
0:02:48	はい。特によろしければ、じゃ次、資料1工程洗浄について、ご説明をお願いします。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:58	はい。それでは資料 1 以降訂正工程の状況電子申請ということで、埋設中間進めさせていただきます。概要の方ですけども、先週ですね 6 月 8 日に高線量お返し以浅、いわゆる前 6 月の異動を行いまして、コテイセイ了解しました。
0:03:16	6 月 10 日に医療課磯仙田 9 月を総括しまして、そのあと 4 回目の確認、溶解槽でどのような了解の確認を行ったところ、
0:03:26	いわゆる溶解先率というものはこれ確認できませんので一旦作業を中断して現場とその原因について原因調査をしております。
0:03:34	当該溶解槽事業にあるようにというところは、操作訓練として 6 月 7 日から 9 日まで、加熱だけを繰り返してございまして、その溶解槽の気密確認を含めて了解操作ができ、行える状況であることはすでに確認してございます。
0:03:49	気密確認というのは米印で書いております。ですのでご説明したいと思います。
0:03:57	次のページ、次のページですね、溶解工程及び奥田 1 人工程の図と 4 の紙がございまして。そちらの方で説明いたします。
0:04:08	左下の方に、E O S R 1042 となっております、左側の今回は R 12 という状態さを伝えます。
0:04:16	今回 3 月のこのを主に投下しまして、当協会さんの上の部分ですね、遠藤の両側に中に 12 ページに書いてございますけども、こちらに溶解槽 P L U G というので蓋をしまして、そのあと、
0:04:32	溶解槽の運転を行うと、加熱操作を行うために、複雑系の上の方になりますけども上に行って、W109 という、こちらせん断系の
0:04:43	処理系統になりますけどもこちらの番号として、また、両会長から直接上がる配慮の 9 月系のラインですね、右側に行きまして W1055 という、あれもございまして、
0:04:56	それを閉じて、両改正をいわゆる密閉状態にしまして、清掃空気等で中に空気が入りますのでそれが徐々に、中の圧力が上昇していることを確認して、了解いただきましたということを確認する行為になります。今回の気密の確認につきまして、
0:05:12	圧力上昇が見られなかったということでまだ原因の調査を行っております。
0:05:18	ページ 2 ページ目に戻ります。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:05:22	これまでの調整結果として廃止措置計画に示してございますけども、せん断粉末溶解時に想定される主な不具合事象の濃縮ウラン溶解槽の気密不良を2本紹介としまして、
0:05:33	現在からガasketを下処理系統の弁棒がクリタ系浸透の状況調査を行っているところでございますやってきた内容を調査結果を、次でござい
0:05:45	ます。ございます。まず、4ページの先ほどお話しした湯浅プランの関係です。こちら運転中もそうなんですけども上からこんなことができますんでこの階層コラムの方のあたりで係受けて、
0:06:01	それと同じものになってなくなってきてそれで決めて取れなくなるという時は、これもずっとを継続して参りまして、今回、緑色の総括とポンプあたり面の観察を行っております。その結果、劣化とか破損、脱落等の異常はございませんでした。また、
0:06:17	設置状況も落ちた方の、これまでと同様でございました。あと、溶解槽そのものも、また裏面ですね、受け身ナカムラ観察及び支払いを行って、今んところ異常等の、
0:06:28	予想を、この着がないということを確認しております。
0:06:33	2番目として大川処理系統ということで先ほど横井さんの上から出て参りました5月でフィルターF26からW10を取りましてせん断系に行く系統なんですけども、
0:06:43	こちらの仙田フィルターに426掲示板を設置しまして千田系のバタフライ弁に4W109と、溶解槽へ切りしましたけども溶解槽の気密の向上は変化はありませんでした。
0:06:57	また、溶解槽のプラグをセットした状態で上階系のバタフライ弁多分105これ両会計のスピードになりますけどもこちらで操作を行いましたところ、該当への上階で、環境が変化するという事で、
0:07:12	バタフライ弁自体の動作に問題ないだろうと考えております。
0:07:19	あとそれと大瀬炉内観察をしまして3000台フィルターにOF26のフィルター研修の周りですね、負担、接続する配管、ホースの接続等の空気流線を確認しまして、高安、
0:07:31	流入しないかと確認しております。それについては、リング等を確認されております。
0:07:37	また、溶解飯岡付風量に影響がある周辺機器ですね、図の方で言いますと、下に雲形で書いてありますか。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:07:46	左側に 2 V 20 という調査、或いは、真ん中、右側にございます 2 部 13、或いは
0:07:53	利用者文章といった関連調査ですね、こちらの方へ行く水封が切れま すと、別の系統の関係と繋がってしまいますので、その影響の
0:08:04	ありなしを確認しました。金等につきまして水封される駅まで補助して いることを確認しております。
0:08:11	またある 11 ヶ月間、学生ある中 11 号大賀城野気密確認行っておりまし て、その結果、区民の基準には達しないものの内圧の上昇することを確認 しております。
0:08:21	ということで R m する周辺系については問題がないものがございます。
0:08:27	あとは、
0:08:29	主に接続する傾向。
0:08:31	ですね、或いはボックス等の
0:08:35	につきまして、すべて確認しまして外観上も大切であることを確認して ございます。
0:08:40	また、計測制御系統の確認ですけれども、図の方ご覧ください。下の方 に入会者の社会でございます。よくあるようにつきましては 12 時、或 いは系統のスタートを確認します T T R 12。
0:08:54	あと、溶解系の不良、
0:08:56	コントロールします D P I R 40.1、これの清掃に関しても定期点検では ビジョンにとりあえず結論で大会のつもりも確認されなかったというこ とを確認しています。
0:09:08	江藤系統の確認はまだ全然ではないんですけども、今後の予定としまし ては、溶解槽の気密に影響する要因として、不具合事象リストに挙げた 8 日付のバタフライベーン、
0:09:19	うちの方で言いますと、
0:09:21	下の方の右側にございます、R 1050 という制度の中に入ってるわけす けども、こちらの状態確認が残されているということで、整理は直接線 の中に入りまして、当該弁の点検を行うための、現在準備を、作業を行 っているところでございます。
0:09:36	こちらのセル内での作業でありますので、放射線計画書作成及びクリア 作成等、現場の準備ですね。はい。を行っているところです。今週、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:09:48	中には入札しまして、点検整備を行いたいと考えております。また、これら、今まで先見等ご報告しましたがけれども、それに抜けがないかどうか、確認を並行してやっていきたいとか、
0:10:02	現状は現在の調査状況としては以上となります。
0:10:09	はい現状形状カトウです。ご説明ありがとうございました。それではただいまの説明につきまして原子力規制庁の方から質問コメントありましたらお願いします。
0:10:35	規制庁ウエノです
0:10:39	W105 の状況について教えて欲しいんですが、今後調査するっていうことが示されてますけど、
0:10:48	2 ページのところで、操作して、
0:10:53	風量に変化して動作は問題ないと、ということが示されて示されてること、
0:11:02	状況確認が残されてるっていうところが少し、
0:11:07	関連性がどう、どうなるのかっていうところを教えて欲しい。何が未確認なのかっていうところをちょっと教えて欲しいんですけど。
0:11:14	はい。タブで 1052 ヶ月、会計操作を何回かやっておりますしてその他、この
0:11:21	I Aにおきましてその後段にございますよう関係包括系の流量も報告ほど確認しております。いわゆる両会長からそういう関係で、大きな流れということは確認してございます。
0:11:32	最低操作へ行行って確認しておりますけどもただある理事を直接見ているわけではございませんので、外から買収とか或いは
0:11:42	来庁まだ全部消し切れてないんで詰めておいた状態確認ですね、バルブの動作確認、あと実際にその中で改善、実際管理がどのぐらい動いてるかの確認、そういったものを確認していきたいと思っております。
0:11:57	はい、わかりました動作確認で風量が 20 立米と 10 立米っていうことで、
0:12:05	開閉をして変化させてるの状況は確認してると思うんですが、
0:12:11	そこの変化量っていうのはこれまで、
0:12:15	の、
0:12:17	経験値からいうと、異常ではないということなんですかね。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:12:25	レベルのバルブとペアで、大体、運転期間の時はそんな、そんなものです また 20 と若干多いような気がするんですけど、その程度はルールとして夫婦たいと思います。
0:12:37	今でも出てるものと考えてます。
0:12:41	はい。この風量を待っても、
0:12:46	現物を見てみないとわからないっていう点があるということですかね。
0:12:52	はい。こちらの青森米のちょっとバタフライ弁で、特殊なものであたり目を調整しながら、バルブの操作を行っております。そういったことでちょっとまだ調整しろが、
0:13:04	あるかどうかのそういったものを確認をしたいと思っております。
0:13:07	はいわかりました。
0:13:19	原子力規制庁の加藤です。すいません教えていただきたいことがあるんですけども、今回、溶解書の気密が確認できなかったということで、
0:13:30	M a c を入れて圧力の上昇を確認するってことなんですけど、今回、
0:13:36	確認できていないというのは、
0:13:40	全く圧力が上がらないということなんすかね。それとも、強くなる上がり幅が小さいっていうことなんでしょうか。ちょっとそこを教えていただければと思います。
0:13:51	はい。今回はほとんど上がってない。
0:13:54	状況でございます。
0:13:58	わかりました。
0:14:07	はい。
0:14:08	今回 012 年⑪ E というところをやったんですけども、ある中には、若干あるほどすぐ元に戻ってしまうということですちょっと若干それよりは、状況として悪いのかな、感じです。どうしても、
0:14:21	やっぱりバスケット、時間、或いは当たり目によってだんだん良くなって、今までの経験上これが一番あるさすんですけども、そういった面で、まだ溶解槽プルーム。
0:14:32	目視で点検し、したんですけども、10 分できてるかどうかちょっと、もう 1 回再検証したいと思います。
0:14:45	ウエノですそ、6 月の 7 日から、
0:14:50	6 月の 9 日間では、その気密性が、
0:14:55	担保されて、
0:14:59	今回機店が確保できないっていうことなので溶解槽 P L U G 周りが、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:15:09	その後の、
0:15:10	状態を経状態が変化してるっていう。
0:15:14	ところだと思うので、そこを中心にやってるっていうことの理解でよろしいですかね。
0:15:21	はい。一番安いのはそこなんですけども今回目視で、或いはちょっと水を上から請求した限りでは、あまり
0:15:31	劣化してるとか、落ちることはなかったんですけどもちょっとそれが、次、ちゃんとできてるかというか
0:15:39	本当に消せるかどうかの確認を含めてやりたいと思っております。また、先ほど言った、105Dの中の1W105とまだその健全性というか、操作確認。
0:15:49	外からの動作確認は今度は取りますけれども、直接行ったわけではないのでこちらの確認を行いたいと思っております。
0:15:57	はいわかりました。
0:16:01	原子炉規制庁の加藤です。ちなみにこういった溶解槽の気密が取れないっていうふうな事象っていうのは、
0:16:11	最初に運転をした時にも小柴氏はあったようなものなんでしょうか。
0:16:16	はい、そうです。どうしても造語見ていただきたいんですけども、分配器から溶解槽への燃料を入れる時とそこの上のものがこの溶解槽の
0:16:27	プラグの方の部分ですねシール部を通して通ってしまいますので、ここでシールしたときにどうしてもパッキンがやられてしまうというのは、これもう、一番の
0:16:39	課題でして、運転前に必ずそういうところで水洗浄だったり、点検したりしてましたんで、特別、今回に限ってという問題ではない。
0:16:51	標が悪くなるってのは今回限ったものではないという頭の上から製造物おくらせますので、そういった可能性は否定できないと思ってます。
0:17:03	多田委員、どうぞ。
0:17:10	当然、ちょっと途中で言う改造プランについては初期の段階で確認しましたけども、例年、もう一度
0:17:19	それが不適切だったとか再検証したいと考えております。
0:17:25	はい。よろしくお願いします。
0:17:34	他よろしいでしょうか。
0:17:44	はい。引き続きこちらにつきましては対応状況につきまして情報共有の方よろしくお願いします。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:17:52	はい、了解しました。はい。それでは次に、資料の 2 のご説明をお願いします。
0:18:01	資料の 2 L W T F の津波対策に係る方針についてです。ページ数は、5 ページから 9 ページになります。
0:18:10	今回から L W T F について説明を担当させていただきます。環境保全部処理場のタカノといいます。
0:18:18	あと処理 2 課の若手の腰越がいますので、これからよろしくお願いいたします。
0:18:26	それでは、ページ数 5 ページの本文から説明させていただきます。
0:18:33	前回、5 月 11 日の規制庁面談では、
0:18:37	その他施設と同様にですね、設計津波に対して建屋内に海水が流入した場合を想定しても、優位に放射性物質を建屋外に流出させない津波対策を行う、行うことに加えて、
0:18:51	施設の長期運用の観点から、運転期間中に起こり得る津波ということで、N 津波に対してですね、ソフト対応を含めた対策を行うということで、
0:19:03	説明をさせていただいております。今回は、施設を長期運用する観点から、津波に対して防護すべき対象を検討した上で、
0:19:13	津波対策の基本的な考え方を整理しましたので説明させていただきたいと思います。1 ポツの津波対策の基本的な考え方になります。
0:19:23	N W T A F は再処理施設の廃止措置において保有する放射線廃棄物に伴うリスクの早期低減に向けて放射性廃液のセメント固化を含む、廃棄物処理を安定的に継続する必要がある重要な施設であります。
0:19:38	このため、施設の長期の運用を踏まえて、津波被災後も、施設の運転が長期間停止し、
0:19:46	挨拶計画が遅延することがないように、運転継続性を確保するため、設計津波の最大浸水深、発 A L P H A 1 を、
0:19:57	想定していますが、浸水深に対して運転に必要な設備を防護する。
0:20:03	それに加えて、
0:20:05	設計津波に対して、建屋内に海水が流入した場合を想定して、有意に放射性物質を建屋外に流出させない、津波対策もあわせて行うことということを、
0:20:18	基本的な考え方としたいと思っております。
0:20:22	続きまして二つ目の設計津波に対する現況になります。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:20:28	矢羽根四つほどありますが、二つ目と四つ目以外については、
0:20:35	令和３年の７月にですね規制庁面談した際に、情報、説明しておりますが、二つ目と四つ目については今回情報を追加したものになります。
0:20:48	二つ目の矢羽根ですが、建屋と建屋外壁の健全性、こちらについては、その他施設と同様にですね、保有水平耐力比、保有水平耐力を基にですね、
0:21:01	地震影響と津波影響を評価した結果、建屋については、設計地震動相当の地震。
0:21:09	清潔等については、漂流物を考慮した。
0:21:13	場合に倒壊することはない大規模損壊に至ることはないということを確認しております。建屋外壁については、外壁の大部分を占める向孔壁において、
0:21:24	設計津波に対して貫通ひび割れに至らないということを確認しております。
0:21:30	四つ目の山根ですが、防護対象の設備ですが、浸水想定範囲、地上１階から地下２階における、施設の運転に必要な設備であり、
0:21:42	廃液処理設備であるとか、吸着設備、セメント固化設備そう参考分解設備、焼却設備の一部の機器、これらの設備の運転に必要な電気設備、ユーティリティ設備、換気空調設備、
0:21:56	サンプリング分析、設備等が該当するということで、添付の方にちょっとリストで挙げさせてもらっております。
0:22:08	添付資料としまして、ページ数、７ページ目をご覧ください。
0:22:14	防護対象の設備ということで、浸水想定範囲に対して、網掛けで網掛けをしているところがですね、運転に必要な設備ということで、
0:22:27	それ以外に倉庫であるとか、階段、ダクトスペースエレベーター、廊下等については、機器がないところを除いたものということで、リストアップしております。
0:22:41	また、本文に戻りまして、６ページ目になります。
0:22:48	１ポツで示しました基本的な考え方を受けまして３ポツ目としまして津波対策の検討内容ということで示しております。
0:22:59	設計津波の最大浸水深に対して運転に必要な設備を守るため、防護すべきエリア、運転に必要な設備が設置されているエリアへの、
0:23:09	海水の流入を防止する対策を講じることとしたいと思います。

- ※１ 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※２ 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:23:16	ちょっと本文そのまま、説明させていただきますが、なおに飛びまして なお、設計津波に対して建屋内に海水が流入した場合においても、
0:23:26	地上 1 階の部屋に対して流入箇所として想定される換気空調ダクト等の 部屋への貫通部への海水の流入量低減させることで、
0:23:37	その他施設と同等の、有意に放射性物質を建屋外に流出させない対策に ついて、あわせて検討していきたいと思っております。
0:23:48	今回施設の長期運用の観点からですね対策を講じようとするものについ ては、添付資料 3 ですね、そちらをご覧ください。
0:24:02	こちら、海水が流入する箇所を示すためにですね、地上 1 階の平面増に なっております。
0:24:12	こちら、主な開口部としまして扉シャッターがあるんですけども、そう いったところに楕円形のライン系のところで示してある扉シャッター が、
0:24:26	会費の主な流入高として考えております。
0:24:31	あと斜め斜線と赤枠で囲われたところがですね、運転に必要な設備が さ、設置されているエリアと、あと赤枠がですね、防護すべきエリアと いうことで、
0:24:44	ここにですね、設計津波の最大浸水深の 5.3 メートルの津波があったと しても、ここには海水を入れない対策をとっていくことを考えておりま す。地上 1 階平面図下の方ですね。
0:24:59	下の方、右下を見ていただくとですね、ちょうど外壁と棒すべきエリア が重なる場所がありますけども、こういった場所はその扉で対策を とっていくことを考えられますけども、
0:25:12	左上のですね、緑色の点線で囲まれているところについては、シャッタ ー扉で対策をとる場合と、あとシャッターの開口、開口部がですね、や はり広いもので、
0:25:25	より狭いところで対策をとった方がですね、トラックエアロックで廃棄 物の出し入れ等しますので、L W T F の
0:25:35	処理能力に影響するかどうかもちっと今後見ていく必要はあると思う んですけども、
0:25:41	ちゃったから入ったトラックエアロックの、G ー ー ー 廊下上側の扉と、 下側の A - 122 試験室に通じるような扉を、対策することで、
0:25:54	赤のエリアを守る、または、その上の方にあるその階段室っていうの が、地下海水が流入する箇所だったりしますので、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:26:05	そちらに行かないように、G-111の廊下からその階段、もしくはエレベーターに通じるようなところに、今は扉はないんですけども、その開口部に、対策をとることで、
0:26:17	地下階への海水流入をしていくことができるのかなということで、考えております。右上の、
0:26:27	点線で囲まれた対策箇所についても、外側のシャッターと、扉で守る場合と、廃棄物の処理能力への影響を考えてですね、隣のG-113の分電盤室に通じる扉で、対策をとる場合は、
0:26:44	あると思うんですけども、そういったことについては、これから作業性であるとか、対策の施工性、あとは、設置した後の保守性を考えて、
0:26:56	どれがいいのか、ちょっと整理をしていきたいなというふうに考えております。今回、守ろうとする、防護すべきエリアの中にですね、
0:27:08	放射性物質を内包するような設備とか機器がありますので、まずは外側の広いエリアで守った上で、仮に施設内に海水が流入したとしても、内部にある放射性物質を内包する設備機器は、
0:27:25	流出しないように、守ることができるということで、二段階の対策をとっていきたいというふうに考えております説明は以上になります。
0:27:37	はい。建築部長の加藤です。ご説明ありがとうございました。それではただいまのご説明に関して、原子炉規制庁から質問コメント等ありましたら、お願いします。
0:27:54	原子力規制庁のカトウですけれども、すいませんちょっと資料で確認させていただきたいんですが、
0:28:05	この今の資料、添付資料1が7ページの表で、本店に必要な設備を有する部屋っていうのを、ハッチングしてもらってると思うんですけども、
0:28:16	この施設がある部屋に対しては、
0:28:21	最大浸水深に対して水を入れないような対策を講じるという理解でいいんですか。
0:28:28	はい、総務課の高間です。
0:28:30	はい。その通り考えております。
0:28:34	わかりましたありがとうございます。そうすると、何かなお書きって何か必要なかなと思ってしまうんですけど。
0:28:41	水が入らないんだったらそもそも流出もしないんじゃないかと思うんですがそこはどう考えればいいでしょうか。
0:28:49	はい。今回その対策をとろうとしている

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:28:54	施設の長期運用の観点から、対策を実施しようとしている対策については、その赤枠で囲まれた防護すべきエリア、添付資料３ですけれども赤枠で囲われたところを、
0:29:06	守るために、設計津波の最大浸水深ということで、発１の津波が来たとしても、このエリアには、津波が入ってこないような対策をとろうと考えています。ただ、
0:29:20	仮に、設計津波発３のものが来たり、あと漂流物も考慮して、施設内にですね、
0:29:28	改正が流入した場合であっても、
0:29:31	守ろうとするエリアに内包されるされる内包する形ですね、放射性物質を持っている設備機器がありますので、そこからの
0:29:42	施設外への流出を守るということで、そのなお書きの対策が最終的な防衛ラインということで考えております。
0:29:54	考え方については理解しました。土肥伊井かどうかはちょっとここでは
0:30:00	発言はちょっといいんですけれども考え方自体はわかりましたありがとうございます。
0:31:00	すいません。規制庁植野です。さ、３ページのおなじ質問になるかと思うんですけど。
0:31:06	３ページの最後のなお書きのところは、
0:31:11	これはだから、何に対して、
0:31:15	漏えいが想定されるっていうことをちょっと教えてもらえますか。
0:31:20	はい。それはタカノです。なお書きのところについては、対象としている津波は設計津波の浜津さんのものを考えております。
0:31:31	原田さんの設計津波が来てですね、来たとしても、
0:31:37	仮に外壁が損傷して施設の中に海水が流入した場合であっても、内部のその放射性物質を建屋外に出さない対策が、
0:31:50	とれるということで最終防衛ラインの意味合いですね、このなお書きの対策は、大事なかと、大切な対策等を考えております。
0:32:03	はいわかりました。
0:32:09	原子力規制庁の新居です。なお書きのところちょっと関連してなんですけれども、同じ６ページのところで、同じようになお書きのところで、
0:32:18	下から３行目で貫通部への海水の流入量を低減させる対策により、
0:32:26	その他の施設と同等の有意に放射性物質を建屋に流出させない対策について検討するとちょっと文章の意味がよくわからなかったんですけどこ

- ※１ 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※２ 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	れは、流入量が低減されるから流出もしにくってそういうことなんすけど、どういう意味なんでしょう。
0:32:42	何か別に対策があると。
0:32:46	はい。処理 2 課の鷹野です。
0:32:51	この放射性物質を内包する設備機器がある部屋に、その海水が流入することによって、その放射性物質が外に出ることを防ぐ対策になりますので、
0:33:06	該当する設備機器が設置されている部屋にですね、換気空調ダクトや扉、あとはその部屋に貫通するような配管ケーブル等、
0:33:16	の貫通部がありますので、そこから海水が侵入してですね、その放射性物質を含む設備から、細江物質がその流出することがないように対策を、
0:33:28	今、検討しているところになります。
0:33:31	何か別途されるわけですか。わかりました。ありがとうございます。
0:33:42	すいません、処理 2 課の鷹野です。
0:33:45	先ほどのそのなお書きの対策については、今現在検討を進めているところですので、具体的なものがわかり次第ですね、ここについてはまた別途説明させていただきたいと思っております。以上です。
0:34:12	あ、すいませんカトウですあわせてちょっと確認なんですけれども、
0:34:17	すみませんちょっと繰り返しの確認なんですけど
0:34:21	先ほど説明の中で例えば地上 1 階で、当庫階段があるところについては、その廊下から都会に繋がるところで、
0:34:32	例えば水を入れないような対策を講じるみたいなことを説明していたと思うんですけども、ちょっとそういった形で、
0:34:40	こっちから 2、水が入らないような対策を、
0:34:43	講じていくっていう、いう説明だったと理解してるんで、それでよろしいですか。
0:34:50	それに狩野タカノです。9 ページ目にあります添付資料 3 をご覧いただきたいんですけども、
0:34:58	左側の緑色の点線部についてですが、
0:35:03	らへんで囲まれている飛田とおっしゃったに対して、対策をとればですね。
0:35:10	施設の中に海水流入することが、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:35:13	防げると思っておるんですけども、シャッターが何せその開口部が広いもので、
0:35:20	シャッターで対策をとるよりも、少し中に入ったこのトラックエアロックの中ですね、上に通じる扉と、
0:35:30	下に通じる扉、あとは、
0:35:32	あっちに対策をとることで、同じように、
0:35:36	施設の中には一部海水は流入するかもしれませんが、この赤枠で守ろうとすべきところ、エリアであったりですね。
0:35:47	末下階へ通じる流入箇所である階段とかエレベーターへ、その海水を行くことを防ぐことができますので、そういった対策も、
0:35:57	有効かなというふうに思っております。また、トラックエアロックの
0:36:04	W102 と G - 111 の間の扉で対策をとるか、あとは、G - 111 廊下の、その上側っていうんですかね、まだ扉はなくて開口部だけになってますけども、
0:36:17	その開口部に対策をとることもですね、これから作業性であるとかそういうものを考慮した上で、どこに対策をとった方がいいのかを、
0:36:28	ちょっと検討していきたいというふうに思っているところです。以上です。
0:36:33	ご説明理解しましてありがとうございます。
0:38:25	規制庁加藤です。すいません、こちらでちょっと議論させていただいたんですけども、ちょっとこの場で、この考え方で、
0:38:35	2 ですということは、なかなかちょっと言いづらいものがあるので、ちょっとこちらにつきましてはちょっとまた内部の方でも、ちょっと
0:38:45	相談していきたいというふうに考えております。
0:38:51	次に鹿野タカノです。よろしくお願いいたします。
0:38:55	はい。院長規制庁加藤です。よろしければ、次、資料の 3 のご説明をお願いします。
0:39:04	はい。現状機構から福岡部の小高でございます。10 ページ目の資料 3 ということで 3 号溶融炉のケーシングの強度評価についてご説明させていただきます。
0:39:15	こちらですが 5 月 24 日の面談にて T V F の 3 号溶融炉の製作状況をご説明させていただいた際に、
0:39:27	ケーブルの溶接により発生した研究についてどこの発生応力がどういうふうに変化して、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:39:37	いろいろな性能に影響するのかどうかということでご質問形まして、これについて表解析、評価を行いましたので
0:39:50	ご説明させていただきます。まず 1 ポツ初め 2 でございますが、3 号炉の製作工程におきましてケーシング本体の溶接時の熱影響によって、
0:40:01	ケイヒンの外径の一部に変形が生じていることを確認しております。図の液位ということで 3、13 ページ目。
0:40:12	ですが、変形のイメージを示しております。
0:40:17	ウエノ江藤ウエノ図がですね養老大野ケーシング、これちょっとまだふたがついてない状態ですけどこの上から見た状態ですが、赤ペンで聞いたのはこれは変形のイメージです。
0:40:32	実際地震ではこのこれほど変形し、極端に変形来てるわけではないんですけどちょっと変形のイメージをわかりやすくするためにちょっと誇張して書いております。
0:40:44	このように真ん中あたりがですね内側にと、94 年に 170 度メインのところがですね、中央付近が内側に、こんなようなそういう状況となっております、設計する等、リブ等の外側から外側までの距離がですね、
0:41:03	1900 ミリで±18 ミリというところに関して、一番ケーシングが縮んだところを、
0:41:12	最初測定値がですね 1871 ということで公差福光の差、最小許容値として 1882mm に対して、片側 5mm、両側合わせるとまだ 20 ミリ、
0:41:25	変形しているというような状況となっております。右下がですね、ケーシングの断面ということで、高さ方向といたしましては上端から
0:41:38	250mm リー付近の地点からですね、公差をちょっと外れる。
0:41:47	ような形で内側に変形しているような状況となっております。
0:41:55	等 10 ページ目戻っていただきまして、一つ元の新井田二つ目の段落のところでございますが、熔融炉の閉じ込め機能に関しましては、
0:42:06	断熱性能高い耐火レンガ等による温度勾配により、熔融ガラスがいろいろ内部で冷えて流動性をなくし固まることで、炉内に閉じ込められるものでございます。
0:42:18	ケーシングに関しましてはこの耐火レンガ等を支持するために設置されているものでございまして、閉じ込め機能の観点から、今回の変形によるケーシングの耐震性ですね。
0:42:32	最大発生応力の発生課長値、こういったものに影響する影響がするかどうかということで評価を行ったものでございます。
0:42:41	2 ポツ、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:42:43	評価方法でございますが、解析コードについてはN A S T R A Nを使用したF E M解析を行ってまして、
0:42:53	東洋の形状に関しましてそれぞれ変形なし、こちら設計先方でございますが、あと、県警ありということで今回の変形を反映したものを、それぞれ、
0:43:04	モデル化費、それぞれの
0:43:07	固有値最大発生応力発生応力分布を比較評価するといったものでございます。
0:43:13	モデル化にあたりましては、溶炉の上部のM平面方向の断面積をですね下げることで保守的による全体の剛性を下げるという、
0:43:24	観点から実際の変形よりもですね、変形量が大きくなるように簡易的なモデルを作成しております。こちらの14ページ目に、モデル化の内容を示しております。
0:43:39	右側バーの図が先ほど示した変形のイメージでございまして、左側ですね左側の方が
0:43:50	実際の変形のイメージを示したものでございまして、今回モデル化したものが右側の鬼頭となっております。平面方向に関しましては、実際は給付金がですね一番、
0:44:02	片側5mm、表現した形になっておりますが、モデルにあたりましては95名270万と面、
0:44:13	濃淡全体をですね、5、右、
0:44:17	に選定したというようなそういったものでルーとをしております。
0:44:23	また右下の断面の
0:44:28	高さ方向に関しましては、上端600mmの時点からですね、直線的にちょっと傾斜を設けて、実際の変形よりもですね、形状が大きく内容をモデルを作成しております。
0:44:42	10ページ目、本文戻っていただきまして、2ポツの3番目のポツになりますが、発生応力に関しましては配席、
0:44:54	経営環境設計地震動による地震荷重及び維持による発生応力、こちら一次応力になりますが、これに炉内の耐火レンガ等の熱膨張荷重及びケーシングの熱応力、事業力になりますが、こちらを加えた一次＋二次応力
0:45:14	を算出するというものでございます。
0:45:16	評価条件に関しましては、設計及び1個、いろいろ更新に係る設計及び工事の計画に、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:45:27	に示しております。溶炉の耐震性に近い体制についての経産省に記載した条件を用いております、参考までに 16 ページ目以降ですね、経産省の方、添付させていただいております。
0:45:44	20 ページ目ですが、
0:45:49	こういった評価条件で評価した結果に関しまして、まず固有値に関しましては、12 ページ目の表 1 ということで、こういう時の解析結果を示しております。モードは 1 時から 10 時まで示しております、変形なしというのは
0:46:06	設計施工で行った結果、設計及び工事の計画に示した値となっております、知事で約 8H z で、50 を超える辺りで 20H z ずーを、を、
0:46:20	を覚えてくるというような結果となっております。これに対して変形のモデルに関しましても、ほとんど同じ値となっております、
0:46:32	今回の変形に伴うこういう時の低下、剛性の低下はないと
0:46:37	とを評価しております。
0:46:39	その下の表 2 ということで、最大発生グループの解析結果に関しましては、変形なしに関しましてこちらの及び工事の計画に書いてある、浮田委員、記載値でございますが一次が 155、一次＋二次が 315 ということに関しまして、
0:46:57	に対しまして、変形ありのケースにつきましては 150 それぞれ 154313 MP a ということで、ほとんど同じ値となっております。それぞれ協力以下の、
0:47:11	課題となっております。
0:47:15	発生応力の分布に関しましては、
0:47:22	A B だから 15 ページ目のところに、A C K グループのですね、結果を示しており上が円形な C のスペース、下が変形あるの。
0:47:36	スペースとなっております、海外発生応力の発生箇所に関しましてはともに熔融炉下部のですねリブの表面で最大 8 億。
0:47:48	が出ております。全体的にですね、領空の発生分布は、ほぼ同じ状況となっております、
0:47:58	今回変形が生じたケーシングの上端付近ですね、96 年度 276 円のところをお伺いしまして、は見学の方では、最大では大体 274MP a なんですけど、変形ありの方もですね、
0:48:13	同じ、同じ値となっております影響はないものというふうに、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:48:21	このような結果を踏まえまして、11 ページ目 4 ポツの経営新宮頭取の影響ということで記載させていただいております。
0:48:33	この下飯野ページングの変形をですね、考慮しても、最大発生応力の発生課長値にほとんど変化がないということからいろいろな取り組む機能に影響は生じないと判断しております。
0:48:46	なおですねはさ、最大発生応力は、溶融炉の下、
0:48:51	ガラス溶融している範囲ということでこちらに生じておりますが、変形に伴うあたりの変化ほとんどないということからガラス溶融槽を系へ形成する。
0:49:06	耐火レンガガラスを加熱するための電極類の支持機能の低下はなく、ガラスを溶融する機能にですね、影響は生じないと考えております。
0:49:16	また、今回変形が生じたですね要因の上部、こちらは、g r a s s のね勝野内の気相部となりますが、こちらにつきましては耐火レンガとですね、ケーヒン可児ですね。
0:49:30	断熱キャストブルというそういうセメントのようなものをですね、流し込んでしたこの流し込むキャストブルの厚さで、寸法を調整するというようなそういう設計となっております、
0:49:41	こういった調整ができることから、気相部の断熱性を確保するための財源機構膨張吸収材、こちらのテーピングの内面に張りつけているものでございます。
0:49:54	と、あと耐火レンガのスターの変更はなく、規制、気相部のですね、断熱性についてもですね、影響は生じないと、とを考えております。
0:50:07	説明は以上でございます。
0:50:12	はい。ご説明ありがとうございました。
0:50:15	これについては、駒井さんいかがでしょうか。
0:50:20	はい。はい。原子炉規制庁の駒井ですご説明ありがとうございました。ちょっと前回の説明だとその上側、ケーシングの上の方が変形変形というか、があって下部の方に、
0:50:34	影響がとかそういうのが書いてあったのでちょっとそういうのはどういう関係かわかんないといったようなコメントを私からしました。それに対して今まさにご説明いただいて、
0:50:46	上の方で変形はあるんだけども全体のケーシングの耐震性それから、耐震評価のときに、熱を、当然、運転温度で評価されてるんだと思うんですけども熱上げのときの、
0:50:59	応力も考えても特に問題ないと。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:51:02	ということでそういう説明だというふうに理解しました。
0:51:07	すいませんその説明の理解の上でちょっとこれは設工認でも聞いてないところなのでご参考までについてことで教えていただきたいんですけども。
0:51:18	これ上部の方がですね、ちょっと変形しましたっていうことで、
0:51:25	ケーシング全体としての耐震性の影響はないというのはそこはよく理解できました。
0:51:30	ただ、ごめんなさいここのですね例えば図でいくととですねページ 13 ページの絵をちょっと見ていただきたいんですけど、
0:51:40	この右上のところの変形の図がある、ありまして、この左下にですね横から見た俯瞰鳥瞰的な絵があります。
0:51:51	これ今現状は、変形が生じる状態ってのはもう蓋は蓋というか上が一も振ったの、蓋というか上の上部っていうのは、すでにもう溶接はされ、
0:52:02	してる状態という理解でいいのでしょうか。
0:52:06	尾方でございます。いえ、まだ蓋は溶接していない状況となっております。今現在ですね、ピーティングができ上がって、このケースの中にですね、
0:52:17	耐火レンガわあ等をですね積み上げてそちらもすでに終わった状況となっております、今工業でそのピーティング周りにですね配管とか、ブスバ付帯品を取りつける。
0:52:31	作業を行っているところでございます。
0:52:33	他の溶接はカクサケン現地に持ち込んでから最終的に溶接することとなりまして 9 月中旬以降の予定となっております。
0:52:46	以上です。はい、ありがとうございました。そうすると今蓋はしてないということなんですけれど、すいませんちょっとここの上側のこの蓋の構造がちょっとよくわかってないんですけど、ここはちょっとすいません私もおぼろげな記憶だと。
0:53:02	このガラスを何か中注入というか、流し込んだり廃液を流し込むような配管みたいなのは、この負担につくんでしたっけごめんなさいどういう観点かというのと、
0:53:13	これ変形してこれから二つつけるんだけどそういった、
0:53:17	バウンダリー的になってるところは特に問題ないのかなとちょっと思っ てちょっとお聞きしました。
0:53:24	いかがでしょう。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:53:25	小高です。すいません。先ほどガラス原料やですね廃液を今日へ供給する配管というのは、府たの真ん中にその管台を設けましてそこから入れるような形となっております。
0:53:39	この蓋は、このページの本体にスミニク溶接でですね、取りつけることになってまして、
0:53:49	隙間なくマツ見にくいに取りつけることになっているんですが、ここがちょっと変形は生じてますけど、このトライアイに問題が出るこの関係ではないのでそこは番台に問題はないと考えております。
0:54:03	はい。今のご説明わかりやすく良かったです
0:54:08	できれば何かそういう今、ちょっとごめんなさい私今疑問に思ったのふたって、今どうなってる状態なのかっていうのとその負担にあとでそういったものを今まさに管台とかで取りつけるときも特に問題ないっていうなんか一言書いといてもらおう。
0:54:24	閉じ込め性っていう観点で、耐震性だけ見ましたみたいな形で1ポツで読めちゃったのでそれだけでいいのかなとちょっとふと思ったのでなんかそういうのを一言付け加えていただくことってできますでしょうか。
0:54:38	了解しました。それでは下のとりあえずについて、問題がなかったということについても問題がなかったっていうかこれから取りつけるので、特に問題にはないと思うぐらいでいいと思うんですけど。はい。
0:54:54	はい。これから。はい。その旨追記させていただきます。
0:55:00	はい。そうすると特に問題江川で円形はあったけれども特に熱上げその他耐震もろもろ問題はないというふうに考えますということで、筋が通るかなと思いました。
0:55:14	了解しました。ありがとうございます。
0:55:16	はい。私からは以上です。
0:55:22	はい。院長規制庁加藤です。ありがとうございました。他、規制庁側から何かありますでしょうか。
0:55:35	吉浦です。今、その点、天板がつくのかっていう、同じことなんですが、
0:55:42	さ、13ページの上面の、
0:55:47	変形っていうのは何か計測したりとかってしてるんですかそれともその天板は、
0:55:54	柔軟に変形があってもつくものなのかっていうことなんですが、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:56:00	コダカでございます。はい。条文のですね、変更の状況についてもですね詳細に寸法を測定しておりまして、このスコアの転移たラフターの部分に関しましても、工業でちょっと分、部材としてはもうでき上がってるものでございます。こちらの方も寸法測定し、
0:56:19	おり、今年の問題もないということ、
0:56:25	取引にあたって、問題はないということを確認しております。
0:56:31	はいわかりました。
0:56:34	あと、同じ図面で 1000 設計寸法 1009 百名に対して、
0:56:41	18 ミリっていう公差を設定してるんですが、
0:56:46	この公差は何か。
0:56:51	これまでの経験とかそういったもので締めて設定してるんですかね。
0:56:56	こちらですね。小高です。こちらは 1 号の運行要領からずっと使ってきている講座でございまして、溶融ろう鈴木てるがたい課題と
0:57:12	取り合えんに必要な方向、
0:57:16	そういうことで、そういったものと考えております。
0:57:22	そういったものでございます。はい。
0:57:26	そうするとそのガダイとの取り合いも確認しているっていいことですかね。
0:57:33	はい。課題ととりあえず、一番下部のところになりますので、今回のファイラーも問題ないんですけど、そこの取り合いの問題、問題はないということを確認しております。
0:57:52	はい、若山そうするとその下、下部に対しては寸法公差、今回漏れてるんですが、条文については、逸脱してる部分があるんだけどそこは、
0:58:04	政策上の問題ないし、機能上の問題もないと、そういうことだということ、理解しました。
0:58:14	ありがとうございます。
0:58:24	原子力規制庁の新居です。今回の変形が溶接時の熱影響による影響だということなんですけども、今回の溶接で溶接条件があった実際の施工において何か問題といったものがあったんでしょうか。
0:58:40	今回その溶接 I I にあたって、当然その溶接へ、こういった研究するということもこういうふうにながら、どこかに行ってきたところでございますが、
0:58:54	いろいろ

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:58:58	この一番上のところですね、東條面のフランジを取りつける際に、この拘束して拘束が必要かどうかとかっていうところをちょっと判断するときに、すでに工場がワーの方では、
0:59:13	すでにその利分、
0:59:17	そのドクターの部分を作るに取りついており、それほど変形はないだろうというところで見込んでいたところをちょっと想定以上に、本店が大きかったというところを、
0:59:30	今回ちょっと少し講座を受託してしまったというような、そういった次第でございます。
0:59:40	そこの部分についてはこれまでの溶融炉を作成されたときとちょっと、
0:59:44	何だっけ事務みたいのが違ったりしたんでしょうか。
0:59:49	そこをですね同じ製作メーカー、ニューと同じ製作メーカーで製作敷いてまして、
0:59:59	そういった
1:00:03	大塚議員の問題はなかったかというところに関して、今ちょっと正確なところで、もう一度ちょっと確認をしてもらってるところでございます。ちなみに日本E Rを作った時にはですね、
1:00:15	約 20 年前ということで、ちょっと当時の具体的にちょっとどういう施工管理を行っていたかというところの、
1:00:25	報告というところが、
1:00:28	冒頭、
1:00:30	詳細な記録まだちょっと残ってないというところもある。
1:00:34	問題であったかなというふうに、
1:00:37	考えております。
1:00:39	わかりましたありがとうございます。
1:00:52	すいません、ちょっと入って他よろしいでしょうか。
1:01:00	それでは続いて
1:01:02	資料 4 の、
1:01:05	浄水供給配管について説明をお願いします。
1:01:11	本郷施設保全課、都築と申します。
1:01:15	あと浄水供給配管の一部更新に係る安全対策工事への影響ということでご説明したいと思います。本件については浄水供給配管の一部更新ということで弁、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:01:27	分離精製工場、あと高精細廃液貯蔵場等への浄水供給配管の一部を更新するものです。更新案件
1:01:36	既設と同等以上の強度及び肉厚を有する配管を用いて更新するというこ とで一応
1:01:43	民間のですね、R4年の9月からR5年の1月の工事計画として
1:01:50	感じ考えております。05年1月からはですね仕上げの部分ということで ショーとかですね、あと埋め戻し等の附帯工事を予定してございます。 国のページに今回の
1:02:05	用水配管。
1:02:07	の更新とあとその周りで行っております安全対策工事との関連について ちょっと図示をしてございます。
1:02:18	黒野を点線で示させていただいております配管がですね、今回更新対象 としてございる配管になります。赤の線が書かれているものが今回、更 新した後がいいですね。
1:02:31	設置される配管の概要というか、ラインになります。
1:02:38	遠藤先生の苦勞の部分かと。
1:02:43	青野南側の
1:02:46	地盤改良工事で赤ピンクの部分がございます。そのピンクの部分の中に 通っているところ、
1:02:54	がございますこういったところを、についてですね、早めに早期に更新 することで前の工事からの向上、
1:03:05	これですねそういったものがないようにしていきたいということとあ と、こういったところに通っているのをそれを大幅に寄せて、工事を円 滑にできるようにするということで効果計画してございます。
1:03:17	ピンクのところについては今後実施なんですけれども、5月、すいませ ん、6R5年の6月頃を、から、本格的な工事ということで着工して参り たいというふうに考えてございます。
1:03:30	ちなみに緑の部分については現在、すでに終わっている地盤改良工事範 囲となっております。
1:03:38	続きまして同じですね、青色の部分になりますけれどもこちらの方が、
1:03:44	今進めております津波防護柵、の押し波の方での東側の区域となつてご ざいます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:03:50	ここについてはですね、R4年の10月ごろですね、支柱設置完了するということで、この区域での大きな工事を、その時点で大体終了するということになってございます。
1:04:03	あと入る部分については、右下の部分、事故対処設備保管場所のスロープとして設置する計画になっておりますけれども、
1:04:13	ここの部分については
1:04:16	その工事が進捗しつつ、P P フェンスが
1:04:22	取れた時点ですね、ということでR5年の6月ごろから、支柱の設置工事が始まって参ります。
1:04:28	あと薄青色、一番下ですね、については、ハブの周りで行っております。行う計画になっております。竜巻防護柵、すいません、竜巻防護対策ということで、
1:04:40	窓をふさいだりですねそういったことを行っていくんですが、こちらの方については、足場を設置してやる、東西方向、それと南側については足場釣り合っ杉崎橋場。
1:04:52	を利用して行うということで工事をやる計画になっております。その工事については5年2月から5月の実施用意は計画してございます。
1:05:05	表の方に返っていただきまして、
1:05:10	そういうことで現状ですね現在進めて第2パラグラフですけれども、現在進めている候補者は、貯蔵場の竜巻後の対策、
1:05:21	あと津波防護対策ですね。
1:05:24	それと大浜の南側の地盤改良工事の区域については、このような埋設配管がございましてということで、この安全対策を受注の影響を考慮して、早期に
1:05:37	行政は供給配管の健全性を確保していきたいと、それとあと先ほども申し上げた通りその中にありますので、は上乗せでいくということによって
1:05:48	安全対策工事、
1:05:50	を円滑に進めるようにして参りたいというふうに考えてございます。
1:05:54	工程についても下の方にスケジュールを示させていただいておりますけれども、浄水配管工事については、9年秋まで9月から1月、
1:06:04	相当大幅の竜巻対策についてはあるようで2月から5月、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:06:09	終了した後にやりたいと思っております。あと今、津波防護対策、実施しているところですが東側の工事については、10月頃までの工事となりますので、
1:06:21	この間を干渉するようなところがございます。そこについては、浄水配管工事、飯尾大浜の南側からTVFの側に向かって伸びる配管について実施するとしていくということで、
1:06:37	この津波防護対策に対して大して影響種を与えないように実施して参りたいと思います。等を、整合対策のうちスロープ側のところについて、とあと大浜の南側の地盤改良については、
1:06:52	ABフェイスがですね、撤去を本格的な掘削、コンクリート置換等、
1:06:58	工事ということになりますので6月ごろからの工事になろうかなと考えておりますので、現状浄水配管の工事についてこの安全対策について、
1:07:10	影響を与えていか与えないかなというふうに考えてございます。説明は以上です。
1:07:19	週ジョーカー。
1:07:21	確認等お願いします。
1:07:33	いや、これ。
1:07:39	規制庁植田です。
1:07:41	先回ご説明あった時は
1:07:44	は、
1:07:47	余裕は運転中は、
1:07:53	伴とかTVFに関する工事を行わないっていうことになってたと思うんですがそれは変わらないということでしょうか。
1:08:01	変わりません。そこの部分については、浄水を停止して切り換えを行うというタイミングをですね、溶融棟の運転が終了したというふうに考えてございます。
1:08:13	ただ新しい形を引いてること自体は実施したいというふうに考えております。
1:08:20	はい。磯。そうすると、ここ工事はするんだけど、機能の停止するような切り換え作業は行わないということで理解しました。
1:08:53	規制庁かわからないかありますか。
1:08:58	大宮。
1:09:02	それではあのさ、最後、スケジュールについて説明をお願いします。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:09:10	はい。廃水推進室の石田からスケジュールの方説明させていただきます。最後のページになります。本日、L W T F の津波対策、それから
1:09:22	工程洗浄の実施状況から設工認の資料、あとはガラス固化の進捗状況。
1:09:31	開始に向けた進捗状況ということでご説明をさせていただいております。
1:09:35	次回につきましては来週ですね 22 日の
1:09:40	及び
1:09:42	予定をさせていただければと思っております。説明を予定している案件につきましては S F の搬出、それから、
1:09:51	で、少し時間空いてしまいましたが、保全の方針について、
1:09:56	これまでの検討状況についてご説明させていただければと考えております。7 月以降のスケジュール入ってなくて申し訳ありませんが来週の面談までには、4 月の予定についても、
1:10:08	記載をした上で計画的な説明の方を進めていきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。スケジュールに関しては以上です。
1:10:18	はい、確認等あればお願いします。
1:10:25	特によろしいですか。全体について、通じて、何かあれば、
1:10:38	機構側から何かありますか。
1:10:45	向こうからも以上になります。はい。
1:10:53	今日は研修の変形については
1:10:59	少し説明して欲しいというか、
1:11:03	耐震性に限った説明ではなくて、溶融炉を、
1:11:08	背機能ですとか、今後の政策に与える影響も含めて、
1:11:14	問題ないと。
1:11:16	いうところについては少し説明を超えていただけたらと。
1:11:20	ということだと思います。
1:11:24	小高です。はい、了解いたしました。
1:11:29	特になければこれで本日のヒアリングは終了します。
1:11:37	ありがとうございました。はい、ありがとうございました。ありがとうございました。ありがとうございました。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。